

# 稲作情報 (Vol.3)

令和6年6月13日  
 石巻地方米づくり推進本部  
 宮城県石巻農業改良普及センター  
 TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>

## 6月上旬の気象経過

6月上旬前半は最高気温が平年より1℃下回り、日照時間も平年比81%とやや少照でした。6月上旬後半は気温も上昇し、平均気温で平年を1.8℃上回り、日照時間も平年を28%上回りました。降水量は6月2日及び3日にまとまった降雨がありました。

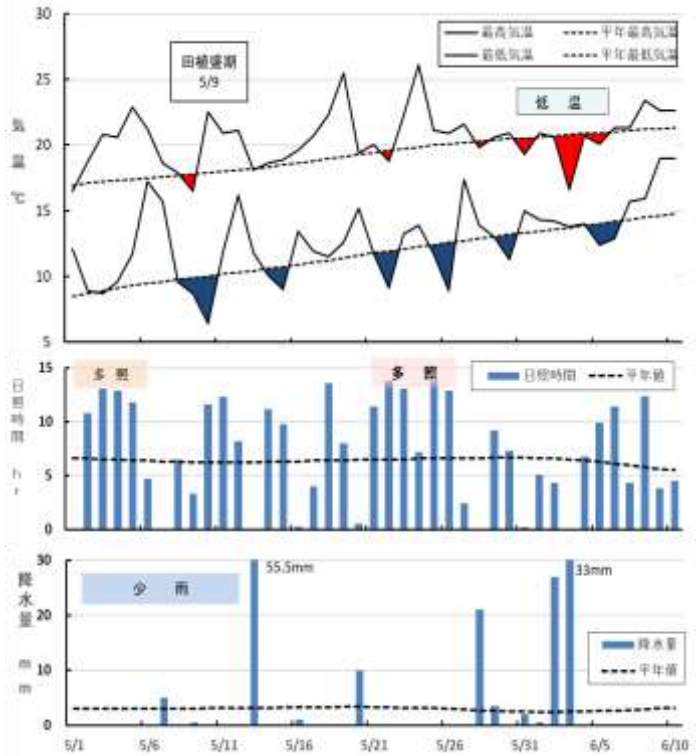


図1 気象経過(アメダス石巻)

## 水稻の生育状況

### <移植栽培では茎数が少なめ>

#### 移植栽培

- ◎ 草丈は、24.6～34.2cmで平年比94%～98%で平年より、やや短めです。
- ◎ 茎数は、89～239本/m<sup>2</sup>で、平年比48～103%とほ場により差がありますが、平年より少なめとなっています。
- ◎ 葉数は、6.3～8.1枚で、平年よりわずかに少ない～平年を上回る状況で、ほ場により差がありますが、葉齢から判断すると、生育は平年より2～3日程度進んでいます。
- ◎ 葉色は、ひとめぼれでは平年並みですが、ササニシキではやや淡い傾向です。

表1 生育調査ほ等の調査結果(6月10日現在)

品種名	地区名	6月10日				備考
		草丈(cm) (平年比)	茎数(本/m <sup>2</sup> ) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	
ひとめぼれ	石巻市広瀨	29.4	235	8.1	41.2	新規
ひとめぼれ	東松島市矢本	25.8 (94%)	239 (78%)	7.1 (-0.3)	42.1 (+2.1)	
ササニシキ	石巻市桃生	27.8 (98%)	126 (48%)	6.3 (-0.1)	30.3 (-5.4)	
ササニシキ	石巻市稲井	24.6 (98%)	214 (103%)	7.2 (+0.9)	34.7 (-0.7)	
つきあかり	石巻市広瀨	34.2	89	7.2	38.0	新規
乾直ササニシキ	石巻市河南	34.0 (145%)	547 (285%)	7.6 (+2.6)	37.5 (+2.2)	
乾直ひとめぼれ	石巻市桃生	24.0	119	6.2	34.6	新規

注) 平年比・差は前5か年の平均値との比較。

## 乾田直播栽培

◎ 乾田直播栽培は、出芽揃いの早かったササニシキほ場は、草丈・茎数・葉数・葉色とも平年を大きく上回っています。ひとめぼれほ場は、5月31日調査と比較して、分けつの発生がまだ少ないものの、草丈・葉数は順調に伸長・増加しています。

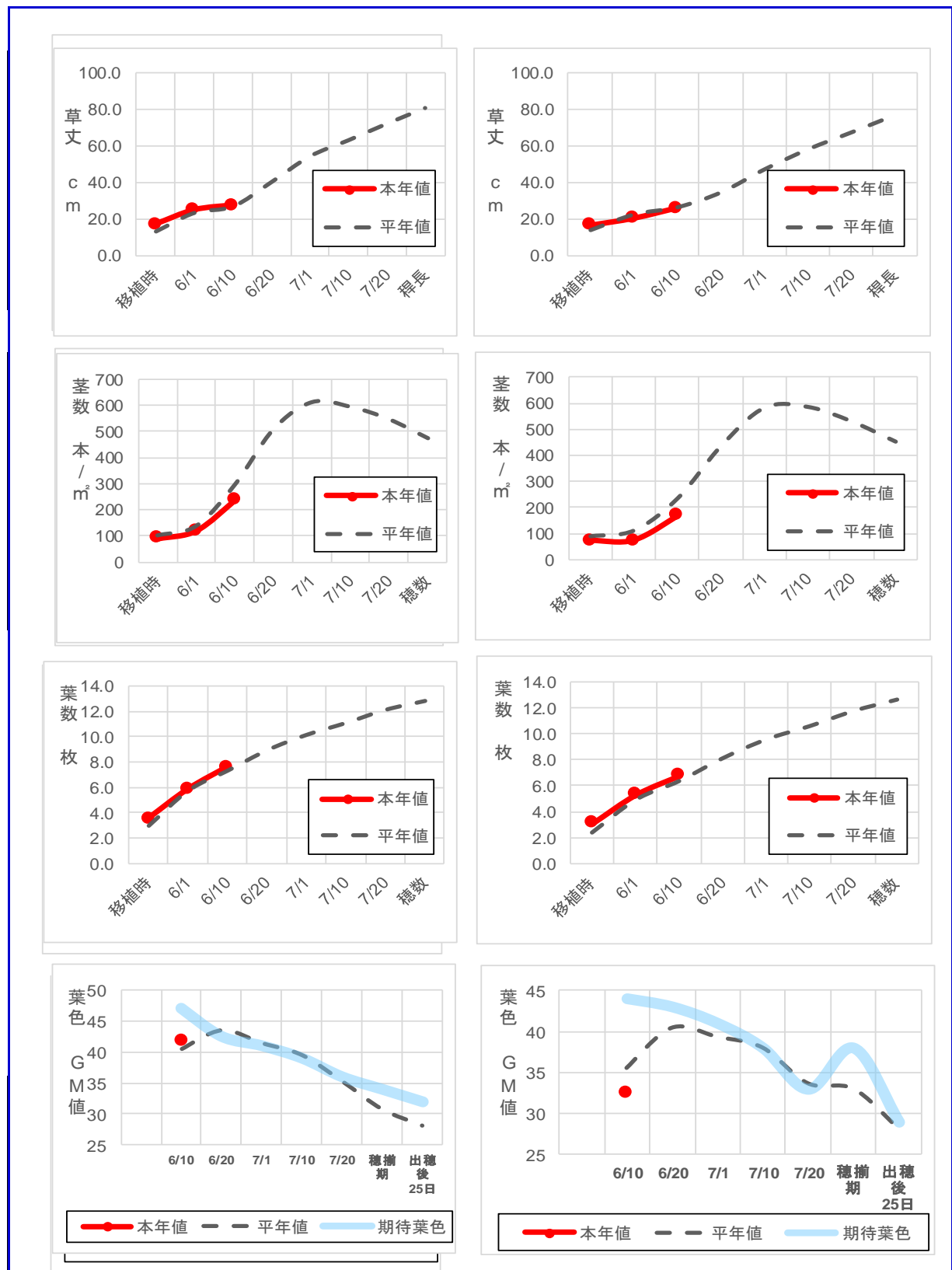


図2 ひとめぼれ (2ほ場平均) の生育経過 図3 ササニシキ (2ほ場平均) の生育経過



写真1 稲井ササニシキほ場



写真2 河南乾直ほ場



写真3 桃生乾直ほ場

## 今後の管理

～適切な水管理で生育を促進させましょう～  
～目標有効茎数の確保を確認して中干しを行いましょう～

### 1 水管理

- ◎ 中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培など生育量が不足しているほ場では3cm程度の浅水とし、分げつの発生を促しましょう。令和6年は茎数が少ない傾向ですので、励行しましょう。
- ◎ 目標有効茎数を確保したら早めに中干しを実施しましょう（目標有効茎数は表2を参考にしてください）。中干しは7～10日間程度で、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度が目安です。なお、実施に当たっては、各土地改良区の揚水停止期間を確認し、計画的に水管理を行いましょう。
- ◎ 復元田などで倒伏が心配される場合には、分げつ期における深水管理が有効です。分げつ期に深水とすることで茎数の増加を抑制することができます。ただし、深水管理によって表層はく離が発生しやすくなるので注意しましょう。なお、表層はく離対策としては、浅水管理や日中落水管理が有効です。
- ◎ 有機物を多用している水田などで、土壌からガスの発生が見られる場合には、中耕や一時的に落水するなどして土壌中に酸素を供給し、根への障害を防ぎましょう。
- ◎ 令和5年は、異常高温により根が傷んだと推察される生育障害が散見されました。高温時は常時湛水を避け、間断かん水を実施しましょう。

### 【今後の水管理のポイント】

- 復元田など過繁茂となりやすく、倒伏が心配されるほ場では、  
➡ 一般ほ場より中干し開始の時期を早める。
- 大区画ほ場や排水不良田では、  
➡ 溝切りを行い、排水を促す。
- 直播栽培など揚水停止まで必要茎数を確保できないほ場では、  
➡ 揚水停止直前に湛水し、必要茎数を確保してから中干しする。  
(湛水直播は強めに中干し、乾田直播は基本的には中干し不要)

表2 品種別の目標有効茎数

品種	目標有効茎数（穂数）					
	移植栽培			乾田直播栽培		
	㎡当たり （本/㎡）	1株当たり （本/株）		㎡当たり （本/㎡）	条1m当たり （本/m）	
ササニシキ	480～510	50株/坪植え	32～34	510	条間30cm	153
		60株/坪植え	26～28		条間24～26cm	122～133
ひとめぼれ	410～460	50株/坪植え	27～30	460	条間30cm	138
		60株/坪植え	23～25		条間24～26cm	110～120

## 2 雑草対策

- ◎ ヒエの残草が確認される直播栽培ほ場が散見されます。残草がある場合には、中・後期剤を利用してください。
- ◎ 除草剤の選定の際には、雑草の種類や草丈、葉齢などを確認し、適切な剤を選定するとともに、使用の際は、容器のラベルに記載された使用時期、使用方法を守りましょう。

## 3 いもち病対策 ～ 移植では残苗処分、直播では予防防除を！～

- ◎ 残苗が置かれているほ場が散見されますので、直ちに処分しましょう。
- ◎ 直播栽培では、移植栽培で使用されている箱処理剤が使えないため、いもち病に感染するリスクが高くなっています。種子処理での予防防除を行っていない場合は、必ず6月中～下旬に葉いもち予防剤による防除を行いましょう。
- ◎ 葉いもちの発生時期は平年並みの7月第1半旬（7/1～7/5）、発生量も平年並みと予報されています。（宮城県病害虫防除所 発生予報第3号）

## 4 イネドロオイムシ

- ◎ イネドロオイムシの発生量は「少」と予報されています。（宮城県病害虫防除所 発生予報第3号）

## 5 斑点米カメムシ類対策

- ◎ 宮城県では、水稻うるち玄米の産年別格付け理由割合の中で、斑点米カメムシ類による着色粒が5か年平均で19.3%（H30～R4）を占めています。

表3イヌホタルイ発生量に基づく斑点米被害リスク

6月下旬の株数/㎡	2等以下に落等する確率
0～1	0～30%
1～6	30%～40%
6～16	40%～50%
16～28	50%～60%
28～42	60%～70%
42～61	70%～80%
61～90	80%～90%
90～112	90%～94%
112～	94～

- ◎ 畦畔や農道、雑草地、休耕田のイネ科やカヤツリグサ科の雑草は、今後斑点米カメムシ類の重要な繁殖源となるので、今から計画的な草刈りを行い、カメムシ類の発生を抑制しましょう。
- ◎ ほ場の中にイヌホタルイが残っている場合は、斑点米による落等の確率が高まるので（表5）、7月上旬までに追加の除草剤散布を行ってください。

## 東北地方1か月予報

(6月15日から7月14日までの天候見通し)

令和6年6月13日仙台管区气象台 発表※抜粋

### <特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

### <予想される向こう1か月の天候・気温>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率80%です。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	10	80
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	30	40	30

### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	10	80
2週目	東北地方	10	30	60
3~4週目	東北地方	20	30	50

## 春の農作業安全確認運動実施中！

令和6年3月1日から令和6年6月30日まで  
重点推進テーマ 徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策

## 宮城県農薬危害防止運動実施中！

令和6年6月1日から令和6年8月31日まで  
農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため  
、農薬は適正に使用しましょう。